

# 目黒区三田の真上を大型飛行機 (恵比寿) が低空飛行を計画中

ご存知  
ですか!

国交省は、2020年から羽田空港の国際線増便を計画しています。目黒区においては、影響が特に大きく南風時案では、ほぼ真上を運行し、三田地区を含め午後3時から午後7時までの間、毎日合計360便離発着、都心の上を2分に1回の割合でスカイツリーより低く上空400〜500mを通過します。これは航空会社のマークや機体番号が認識できるほどの低空飛行です。この新飛行経路案が選択されると、東京オリンピック以降も運行はずっと継続されることとなります。国交省は、新飛行経路に関して現時点では住民の意見を聞いて課題を整理している段階です。皆様の身近に起きているこの問題について、回避・軽減に向けて連携して行政に働きかけてまいりましょう。

## ◎騒音・健康被害

航空機の騒音は健康や子供の発達に影響を及ぼします。WHO(世界保健機関)の「ガイドライン」の報告では騒音による脳卒中、睡眠障害や心臓疾患増加、子供の読解力、長期記憶の低下といった影響も指摘されています。また発生する騒音は約70デシベル(80デシベルは電車のガード下ぐらゐの音)で現在のヘリコプターの騒音よりかなり大きく、比べ物にならない騒音になっております。室内でも窓を開けた状態ではテレビの音も遮られます。

## ◎事故(テロも含む)・落下物・大気汚染

飛行機の部品や氷などの落下の問題や飛行機そのものの墜落事故の心配。また航空機の排気ガス(PM2.5)による大気汚染の問題も不安視されています。

## ◎住宅地の低空飛行

これまでは騒音や事故の危険を極力避けるために六千フィート(1800呎)以下では飛行しないようになっていました。それ故に国交省は現在の東京湾を運行する飛行ルートを選択しています。人間が操縦する以上ミスによる事故は避けられません。今回の計画では世界でも類を見ない広範囲な人口密集地東京を低く飛行するリスクが懸念されます。

## ◎資産価値の低下

騒音を含めた環境面での影響で不動産価値が下落するのではと懸念されます。せっかく静かな住みよい住宅環境であるにもかかわらずなぜ危険に晒されなくてはならないのでしょうか。

## ◎今後の方向性について

羽田空港都心低空飛行計画はまだ変更可能です。実際の飛行が開始されてからでは計画の撤回や変更は極めて困難です。まずは地域住民の方にこの状況を知って頂き行政に要望を陳情しやすくする為に「目黒三田地区の環境を守る会」という会を発足致しました。

三田町会でも町会長が目黒区に対して三田地区での国交省主催の説明会の開催を要請しております。(二月二十九日付区長からの返信有り)これからもこの件に関して随時発信してまいりますのでご協力お願い致します。

## ◎他区での活動状況

- 文京区は区議会議員が国交省宛に要望書を提出しております。
- 品川区 陳情審議中「羽田ルート増便計画に反対する会」
- 江東区 行政要請行動「江東区上空の飛行計画撤回を求める会」
- 大田区 行政要請行動「羽田空港増便問題を考える会」
- 文京区 要望書申請「文京区民有志」

騒音・事故 懸念! 「いのちと健康」より経済効果が優先ですか?  
三田住民犠牲の目黒低空飛行ルート計画に  
対して行政に働きかけましょう。

連絡会:「目黒三田地区の環境を守る会」 須藤 080-1339-8637

メール:mitakankyo@outlook.jp ブログ:http://megurokumitanoplane.blogspot.jp/



## 各メディア情報

- ① 毎日新聞
- ② 東京新聞
- ③ 日テレNEWS

① 毎日新聞 2016年1月14日紙面より抜粋

羽田空港:

増便へ、都心上空を低空飛行案新ルートに住民不安想像より音大きい／高齢者につらい

騒音は野外で76～80デシベルと見込まれる。走行中に窓を開けた地下鉄の車内が80デシベルとされる。

説明会では、「自宅にすることが多い年寄りにはつらい」、「通過する頻度が多く心配だ。…」、「防音工事などをしっかり対策してほしい」

② 東京新聞 2015年11月1日紙面より抜粋

羽田増便「根本的見直し必要」騒音、落下物など懸念 大田でシンポ

シンポジウムが15年10月31日大田区であった。航空評論家の秀島一生さんが基調講演で「首都圏の他の空港に(離着陸機を)分散させるなど、根本的な見直しが必要」と主張した。

さらに「騒音のほか、航空機からの落下物の問題もある」と、都心上空を飛行させる国交省の方針を批判した。

シンポは、大田区のせんべい販売業横山宜幸(よしゆき)さん(58)らが共同代表を務める「羽田空港増便問題を考える会」の主催。大田と品川、新宿、渋谷、練馬、文京の各区と川崎市の住民、米軍厚木基地の騒音訴訟の関係者が報告し、約百人が集まった。

報告者は「静かな生活を守るのは住民エゴではなく、当たり前の権利」(新宿区)、「航空機の上空通過に自治体が関与できる保証がない」(練馬区)などと訴えた。

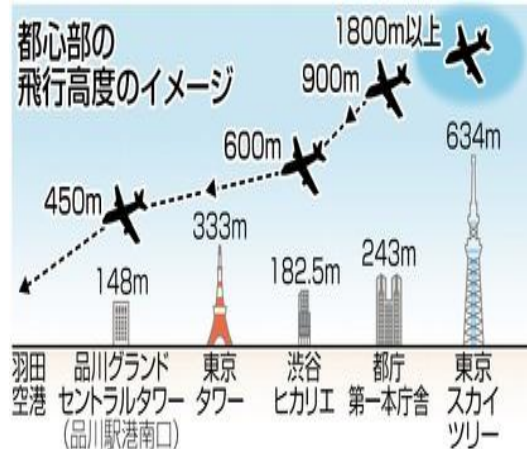
## ◎飛行頻度:都心上空 2分に1回

C経路 31回/時 A経路 13回/時

※他ルートもあり 羽田空港C滑走路到着飛行経路

⇒代々木⇒南青山⇒広尾駅⇒白金高輪 ⇒

品川駅⇒大井駅⇒羽田へ



③ 日テレNEWS 2015年11月25日報道抜粋

騒音・安全は…羽田増便で都心を低空飛行? ⇒初代⇒渋谷駅⇒恵比寿駅⇒三田地区⇒

目黒駅⇒五反田駅⇒大崎駅⇒東大井⇒羽田へ

■羽田増便へ…都心を低空飛行?

新ルートでは、新宿、渋谷、目黒、品川などの上空を飛んで着陸するルートや、川崎市上空や江東区などの上空を飛ぶ出発ルートも検討されている。

■1時間に31便? 東京タワーより低く飛ぶ?

新宿や渋谷上空を飛ぶ東側ルートを見てみると、午後3時～午後7時の間に1時間あたり最大31便が飛ぶ可能性あり、およそ2分に1回のペースで上空を飛行機が飛ぶということになる。また、その高度も低く、…渋谷付近では、高さ634Mのスカイツリーよりも低く、大井町付近では高さ333mの東京タワーよりも低い位置を航空機が飛ぶということになるのだ。

■事故を心配する声も

国交省への意見では「人の多い街中や住宅街を飛行するので、事故によるリスクが高いのではないか」、「飛行機からの落下物により被害が生じないか心配だ」という声もあった。

■騒音…渋谷付近なら“新幹線の車内”レベルか

低いところを飛ぶとなると、心配されるのが騒音の問題だ。…

渋谷付近では約68～74デシベル。これは新幹線の車内に近い音のレベル。

国交省への意見では「住宅街やオフィス街を飛行するので、騒音の影響が心配だ」、「騒音の範囲や想定値を詳細に示してほしい」といった騒音に関する声も多く寄せられた。

